

眼瞼痙攣と片側性顔面痙攣について

(1) 眼瞼痙攣とは？



眼瞼けいれんとは、意識することなくまぶたの筋肉が収縮、けいれんする病気です。病名からイメージされる、まぶたがピクピクするけいれんとは異なります。

40代以降の女性によく見られる病気です。目の違和感やまばたきが多くなるなど、ドライアイと似た症状が見られます。

進行すると**自分で目を開けられなくなる**ことがあります。

(2) 片側性顔面痙攣とは？



片側顔面けいれんとは、顔の**左右どちらか**片側の表情筋が**自分で意図していないのに**けいれんしてしまう病気です。顔面神経が血管によって圧迫されることが原因で発症することが多いです。

症状は、まぶたのけいれんにはじまり、進行すると同じ側の頬や**口の周りの筋肉も**けいれんするようになります。↓

★ 当院では**ボトックス注射**による治療を行っています。

この治療法は、緊張している筋肉に緊張をやわらげるお薬（ボツリヌストキシン）を注射することで痙攣（けいれん）や収縮の原因になっている神経の働きを抑え、緊張しすぎている筋肉を緩めるものです。

この治療法は世界80カ国以上で許可され、広く用いられています。

お薬の効果はおおよそ3～4カ月以上です。

お薬の効きすぎで”目が閉じにくくなる”、”まぶたが下がる”などの副作用が起こることがありますが、いずれも一時的なものです。このような症状が現れた時には、医師にご相談ください。

ボツリヌス療法は保険適応です。